

ヒト T 細胞白血病ウイルスとシェーグレン症候群の関連性[§]

Association of Human T Lymphotropic Virus Type I with Sjögren Syndrome

飛田あゆみ 今泉美彩 世羅至子 赤星正純 早田みどり 前田蓮十 中島栄二
中村英樹 井田弘明 川上 純 江口勝美

要 約

これまでの免疫学的研究から、ヒト T 細胞白血病ウイルス (HTLV-I) がシェーグレン症候群 (SS) の病因となる可能性が示唆されている。そこで今回の研究では、以前に SS について調査した 852 人の長崎原爆被爆者 (SS 18 人、非 SS 834 人) について、抗 HTLV-I 抗体を化学発光酵素免疫法によって測定した。その結果、75 人 (8.8%) が抗 HTLV-I 抗体陽性と判明した。これまでの調査から、抗 HTLV-I 抗体陽性群では 5 人 (6.7%)、抗 HTLV-I 抗体陰性群では 13 人 (1.7%) が SS と診断されていた ($p = 0.016$)。抗 HTLV-I 抗体陽性群で SS であることの、年齢および性で調整したオッズ比は 3.68 (95%信頼区間 1.26–10.75、 $p = 0.014$) となった。以上の結果は、HTLV-I 感染が SS と有意に関連していることを示している。

[§] 本報告書は *Ann Rheum Dis* 69(11):2056–7, 2010 に掲載されたものであり、その正文は同掲載論文のテキスト (英文) である。この日本語要約は、日本の読者の便宜のために放影研が別途作成したが、本報告書を引用し、またはその他の方法で使用するときは、同掲載論文のテキスト (英文) によるべきである。